

(仮称)くろべ市民交流センター施設管理運営計画 先進地視察 報告

平成 30 年 6 月 3 日 於:塩尻市市民交流センター(えんぱーく)

【参加者:24名】

委員・WS :藤田委員長、上田副委員長、中尾副委員長、橋爪委員、菅野委員、
新酒委員、池田メンバー、石田メンバー、荻野メンバー、川端メンバー、
橋詰メンバー、森丘メンバー

市事務局 :能澤副市長、国香教育長、長田教育部長、川端図書館長、
島崎生涯学習課長ほか7名

複合施設の可能性ー地域に必要な図書館づくりを考える

松本大学図書館長／教授、元塩尻市市民交流センター長兼図書館長
(仮称)くろべ市民交流センター施設管理運営計画策定アドバイザー

【施設整備で見えた課題】

- ・ 複合施設整備の課題は、行政の縦割りだけではなく、市民の縦割りが挙げられる。図書館関係者は図書館の、子育て支援の関係者は子育て支援の活動のことしか考えておらず、市民同士で障り取りが行われていた。
- ・ 「箱物の整備は反対」「図書館は使っていないので不要」という、反対意見が存在した。



【課題解決のため、浮かんできた疑問点】

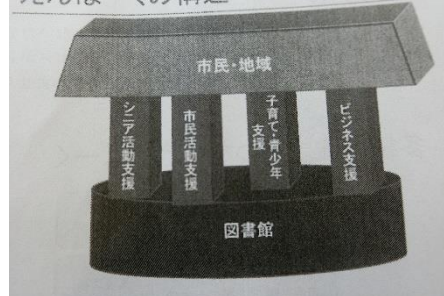
**図書館は図書館利用者用、子育ては子育て世代用、
市民交流エリアは市民活動用でいいのか。**

- ・ 「相乗効果」という言葉を実現できないのか？
- ・ 図書館を使っていない人に対して今まで通りのサービスを提供しても利用されない。新しい利用者の開拓には、新しいサービスが必要である
- ・ 自分のことだけを考えて障り取りをするのではなく、他者を考え一緒にできることがないのか議論すべきである

【えんぱーくが目指したもの】

- ・ 機能融合:図書館が土台となり、シニア活動、市民活動、子育て・青少年活動、ビジネスを支援する。
- ・ 各施設単独ではできない新しいサービスの創出。各施設のサービスを図書館がどのように支えるかを考える。

えんぱーくの構造



【重要な視点】

- ・ いままでの既成概念からの脱出。
- ・ 地域の多様な機能や分野との連携。
- ・ 地域を支え地域を生かし、地域の拠点となる施設は、利用者と職員、両者の意識からつくられる。

(仮称) くらべ市民交流センター管理運営計画策定委員会

先進地視察 アンケート集計結果

参加者: 策定委員 7 名、ワークショップメンバー 7 名、事務局 10 名

1. 「塩尻市市民交流センター」を訪問して、「(仮称)くらべ市民交流センター」の管理運営計画に取り入れるべき点をご記入ください。

1. 管理運営体制(ひと)

- ・ 行政課の垣根を越えた運営が行われていた。
- ・ えんぱーくのスタッフさんたちが元気のある方たちばかりで声をかけやすそうだった。

2. 施設整備(もの)

- ・ 塩尻市の場合、交流センターの出発点が中心市街地の活性化にあることを明確にしており、複合施設としたことも市民に理解されやすかったのではないかと。
- ・ 設計に柔軟性がある。例えば、廊下という概念を廃し、フロアに多機能を持たせており、壁まで情報手段にしている。
- ・ 多様な機能をつなぐという思想が徹底している。
- ・ 各施設が単独ではなく、協力してサービスを提供できる空間づくりになっている。
- ・ 調理室がガラス貼りになっており、開放的で、目が届きやすいので、親子連れで参加の場合も子どもを部屋の外で遊ばせておける。
- ・ 廊下、壁が有効利用されていた。壁面のポスター等、マグネットで掲示物が展示されているのがよい。
- ・ 各部屋がガラス張りなので、来館者が見て楽しめるつくりになっている。
- ・ 塩尻市方式のゾーニングがよい。
- ・ オープン広場がつくられていた。
- ・ 飲食しながら勉強、読書するスペースがある。
- ・ アルコールを飲める部屋がある。
- ・ ゴミ箱がないフロアがある。
- ・ 市民活動の様子が来館者に伝わる構造。
- ・ 多用途に使える。
 - ①複合施設ならではの「相乗効果」を生み出す施設。(単に場所取りの施設ではなく、「機能融合」、単独施設ではできない新しい「つなぐサービス」の構築を目指した)
 - ②部屋の間の廊下の空間が多く、それが市民の活動の場、いこいの場となっている。(公園機能)
 - ③「人が中心」「人の動きが」が見える設計。
- ※えんぱーくの上記 3 点が心に残りとても良いと感じた。黒部でも取り入れるべき点だと考える。
- ・ 壁柱が一つの部屋とし機能を発揮している。
- ・ 壁柱の構造で森・水・太陽・月のコートを設け、自然にいざなう仕掛けはセンター全体がつながっている感をだしている。
- ・ 貸部屋を増やすのではなく空間(廊下)を有効利用している。
- ・ 自然光が入っている。

3. 資料整備(もの)

- ・ 書籍だけでなく DVD 等も同じコーナーに展示している。
- ・ 壁柱に新刊図書を本棚のように掲示してあり、解りやすい。

4. サービス計画(こと)

- ・ 図書館、子育て支援、ビジネス支援、観光など、敷居をなくそうという姿勢がある。えんぱーくのように、くらべ市民交流センターもさまざまな団体とつながりを持ち、黒部市の

魅力のひとつとなる施設にしたい。

- ・ アルコールを飲める部屋があるのがよい。自治振興会、運動会、地区敬老会等で年数会の懇親会ができる。また、地酒〇〇教室的なこともできるのではないか。200人収容スペースを要望。
- ・ 時代や市民ニーズに応じて、ハード、ソフト面ともに運用や機能を変化させられる。
- ・ 複合している各機能が相互に来館者を“つかまえる”仕組みがある。
- ・ おのおの自由なスタイルで過ごすことができる。
- ・ 活字離れ対策のために「本の寺子屋」に取り組んでいる。
- ・ 印刷、本の帯をデザインする志みも才能を開く試みである。
- ・ えんぱーくのマークがかわいい。
- ・ 椅子、机がある空間がよい。
- ・ パン屋があるのも嬉しいひとときを提供する。
- ・ 空間(壁や柱)を利用しているが、小中学校の活動発信などとして利用するとよい。
- ・ 図書館以外の飲食 OK というところにおいても集いの場として自然と交流できる場になっている。

2. 「塩尻市市民交流センター」において課題だと思った点をご記入ください。

5. 管理運営体制(ひと)

- ・ 行政の縦割りだけでなく、市民の縦割り(自分達の利益だけを主張する)がある。

6. 施設整備(もの)

- ・ 受付や部屋がどこにあるのかが分かりにくい。
- ・ 案内板が見つらい。
- ・ 子どもや学生、若い世代には開放的な施設で居心地よく感じたが、不規則な廊下が高齢者には親切ではないと感じた。
- ・ 出入口等多く、セキュリティ面はしっかりしているのか疑問に感じた。
- ・ ランニングコストが多くかかるのではないか。
- ・ エリアごとに温度環境がありすぎる。
- ・ 壁柱の床タイルが一枚につき有料(低価格)で借用できるが、その近くを通行する人には床の区切りがわかりにくいのではないかと思った。
- ・ 若い層向けの施設(建物)という印象が強く、お年寄り向けとなるといろいろと不便なことが発生するのではないか。
- ・ バスや電車での利用率を挙げられるような仕組や対策はどうなっているのか。

7. サービス計画(こと)

- ・ 館内での飲食が、パンとソフトドリンクの販売だけで物足りなく感じた。
- ・ 採算の問題と、周辺の飲食店との兼ね合いの問題は、黒部市でも過大になると思われる。
- ・ 館内は飲食自由になっていたが、食べこぼし等が気になった。
- ・ 自由すぎる考え方が諸刃にならないか。
- ・ ビジネス支援の部分が土日休みだったので、平日仕事をしている人々が休みの日に相談や調べたいことがある場合、対応できないのではないか。
- ・ 目的なく来た人が他の人と交流する仕組みが足りてない印象がある。いつも決まったところで決まったことだけする人が利用しているのではないか。

8. その他

- ・ 「魅力的。ゆっくりじっくり見たい。何度も来てみたい」と施設全体を通して感じた。
- ・ 「おのおの自由なスタイルで過ごすことができる」「多用途に使える」憩いの場である。
- ・ その柔軟さが居心地の良さにつながっているように感じた。
- ・ えんぱーくの基本コンセプトは「知恵の交流を通じた人づくりの場」そして社会のニーズに応じた進化する図書館を目指すことだとうかがった。黒部市の場合は「居心地が良い」「居場所」といったソフトな部分を大切に、表に出していくのがよいと思う。「サードプレイス」という言葉についてはもう少し検討が必要かもしれない。

3. 今後の委員会やワークショップで議論を深めるために、知りたい情報等あればお知らせください。

- ・ 上越市の「直江津学びの交流館」では、公民館も入居しているが、公民館活動以外の貸室利用料との関係が難しいようである。黒部市では「三日市公民館」と「働く婦人の家」が交流センターに移るが、利用料の問題は分かり易く設定する必要があると思う。他に公民館が同居している複合施設の例があったら知りたい。
- ・ 他にも図書館と公民館が一緒になっている複合施設の概要を知りたい。
- ・ 参考に、他の複合施設のパンフレットなどがあれば、比較がしやすい。
- ・ 単独では出来ない、複合施設としてのイベント情報。地域に役立つ施設、誰もが楽しむことの出来るイベント等をしているところがあれば知りたい。
- ・ 現在までの決め事等について知りたい。
- ・ 公民館の入った複合施設の運営方法を知りたい。
- ・ 既存施設での事例として、合意形成の過程で意見がぶつかったときに、どのように解決していったか、また提案を採用しない決定をした時に、提案者にどうやって納得してもらったかを知りたい。
- ・ ファミリーサポートセンターについて2点質問がある。パンフレットによると子育て支援センター内にファミリーサポートセンターがあるとのことだが、
 - ①子育て支援センターの職員の先生が子育て支援センターとあわせてファミリーサポートセンター事業を担当しているのか。
 - ②子育て支援センターを託児の場所として利用することは可能か。黒部市の場合は、ファミリーサポートセンターは黒部市の委託事業として「たんぽぽ」という団体が運営して子育て支援センターとは別であると認識している。しかし、「(仮称)くろべ市民交流センター」建設にあたり、子育て支援センター内にファミリーサポートセンター事務所を置くことができれば、認知度・利用しやすさ・安心感が増すのではないかと思い、「塩尻市市民交流センター」の場合の運営について教えていただきたい。
- ・ えんぱーくの隣の「キッズコーナー」も見学してきたが、「キッズコーナー」と「支援センター」の住み分けについてよく分からなかった。
- ・ 商店街の賑わいを考える上で交流センターのすぐ近くに喫茶店ができる計画情報などはないのか。あるとするなら、交流センター内では自動販売機とパン屋の飲食コーナーで十分なのではないかと思った。(図書を読むときのマナーとしては飲食しないこと)